

# 道連ニュース

2011年9月号 No.63

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>



## 道連会費の特別基準は終了か？ ～第1回道連見直し検討会が開催～



6月総会での監事監査報告「。次年度以降の収支構造についての検討。」を受けて、活動計画では「。検討し、次年度総会へ提案」するとなりました。

8月の理事会で「道連見直し検討会」の設置を議決しましたが、8月18日に開催されました。河原・福祉生協理事長を座長に福田・さっぽろ常務、伝法・道医療常務、佐藤・事業連合常務、滝澤・労福協事務局長の5名がメンバーです。

各氏の問題意識の交流や以下の確認を行いました。○。道連には。各種の生協間の協同・連帯、渉外活動や政策提言などを通じた地方自治体との関係強化な

ど、多面的な役割が期待されています(2020ビジョン)○。会員生協の拠出には限度があり、どのような道連活動を重点とするのか、会員生協にとってどのような役立ちを発揮してもらうのか、道連に対する共通認識を作り、その中で財政問題についても論議し整理することが必要。(2004年日生協・県連のあり方答申)

事務局からは①年内に論点整理を行い、1月理事会での審議に提供を②来年の総会運営のあり方③必要な定款・規則・規程の変更も併せて検討頂きたい旨報告された。

今回は10月27日に予定されています。



中札内生協

## 第1回生協まつり終わる



例年7月と8月に開催していた2つのイベントを一つにまとめた新たな試みとして、第1回生協まつりを7月22日(金)に開催しました。

当日は天候にも恵まれ、午後3時の開始とともに子どもたちが集まりだし、夕方には仕事を終えた方々で会場は多くの人たちで埋め尽くされました。

会場内では当組合役職員による手作りの食べ物や飲み物の販売が行われ、特設ステージでは小学生によるよさこいソーランや村伝統のポロシリ太鼓といった毎年恒例の催し物に加え、一足早い子ども盆おどりやビンゴゲームによるお楽しみ抽選会などで盛り上がりました。

村一番のイベントである8月の盆おどりがなくなったことで残念に思っている方々がいたこともあり、今

後に課題はありますが、短い夏の数少ないイベントとしては成功に終わることができました。



生協まつりで好評な村伝統のポロシリ太鼓

### ◆お知らせ◆

## 道連HPに“道内生協の灯油価格”を掲載しています

今年も灯油価格をお知らせする季節になりました。会員生協様のご協力をいただき『灯油の価格調査』を開始しています。当会のHPに毎月1日現在価格で、来年の3月まで掲載していきます。

今年のコープさっぽろの灯油価格は、今年の9月に比べ13円高の高価格でスタートしています(札幌地区: 86円(定期配送・1ℓ/税込))。今年も原油価格の高騰や投機マネー等などの灯油情勢の動向から目が離せません。北海道はこれから本格的な需要期に向かいますので灯油の価格が心配です。

## 「東日本大震災」での被災受付は約13万件、 共済金の支払は約12万5千件で957億円

全労済は、2011年3月11日発生した「東日本大震災」により、住宅に被害を受けた組合員への現場調査活動を最優先課題として取り組みをすすめております。

2011年9月5日現在、約13万件の被災受付があり、すでに約12万5千件・957億円の共済金をお支払いいたしました。

全労済北海道本部（札幌市白石区菊水3条4丁目1-3）1Fエントランスには、被災地域の状況や被災者の感謝の声、被災地に現場調査員として動員された全国の全労済職員の被災地に対する思いなどをパネルにして展示しております。

いまだ「東日本大震災」被災組合員への対応が終了していない中、台風15号により東海地方を中心に全労済の組合員も被災を受けております。また、北海道においては、2011年6月10日発生した「北見市雹災害」

により多くの組合員の住宅・自動車に被害があり、全労済における1号災害（1,820件を超える被災受付）北海道本部総力をあげて現場調査活動を実施しております。



全労済本部ではこの間の支援状況をパネルで報告（全労済北海道会館・玄関ロビーに展示）

### 北海道ユニセフ協会

## 東日本大震災復興支援写真展を開催

＜ユニセフは日本に対し、50年ぶりの支援を実施＞

2011年3月11日午後2時46分頃、東北地方を中心に、強い地震が発生しました。（公財）日本ユニセフ協会には、震災に対してユニセフ本部をはじめとする世界各地のユニセフ現地事務所や国内委員会から、お見舞いと励ましの声が届いています。

ユニセフのアンソニー・レーク事務局長は、日本時間13日深夜、東日本大震災で被災した子どもたちを支援するため、



9月20日、札幌市役所での東日本大震災復興支援パネル展の様子

特に、子どもの保護や心理社会的支援のような専門的な知識を要する分野への支援や、教育や保健をはじめとする広範な分野での緊急

支援を、日本ユニセフ協会と協力して提供する用意があることを、日本政府に対し正式に表明しました。これは、第2次世界大戦直後の昭和24年から昭和39年まで15年間続いた「粉ミルク（脱脂粉乳）」などの支援や、昭和34年の伊勢湾台風被災者への支援以来、約50年ぶりとなります。

北海道ユニセフ協会は、この支援の様子をたくさんの皆様にお知らせすること・よりいっそう募金を進めることを目標に、企業、団体・個人、行政のご協力をいただき活動しています。

札幌は定例のコープさっぽろチャリティー広場や、初めての取り組みとして手稲区役所・市役所でも、支部のある釧路・旭川も積極的に各団体の支援を戴き写真展・募金活動に取り組んでいます。

北海道ユニセフ協会では今後も写真展や報告会を企画しますので、機会がありましたらお立ち寄りください。また、開催のご希望がございましたら当協会にご連絡下さい。

### 活動パネルのご紹介

## “東日本大震災に対する全国生協の取り組み”をパネルで紹介

日本生協連では、3月11日、東日本大震災に向けた全国生協の支援の取り組みを紹介するパネルを作成しました。道連では来訪者にもご覧いただけるようにと7枚購入し事務所内に展示しています。是非お立ち寄り下さい。またパネルはタペストリータイプで持ち運び便利です。貸出もOKです。各生協のこれからの活動時にご活用頂ければ幸いです。



日生協の写真パネルを道連事務所に展示